

# Japan habba 2023

## 沖縄（琉球）の音楽を味わう

照喜名朝國（てるきなともくに）

- 琉球古典音楽 三線奏者

# 照喜名朝國(てるきなともくに)

---

琉球古典音楽安富祖流絃聲会

琉球古典音楽安富祖流音楽研究朝一会 師範

沖縄県那覇市出身。

8歳より、人間国宝である父”照喜名朝一”に師事。

1988年 当時最年少で琉球新報社主催琉球古典芸能コンクール新人部門を受賞

2019年 ニューヨークカーネギーホールにてTOBE!!UTA SANSKIN in NYへの出演

2019年 紀尾井小ホールにて照喜名朝國独奏会「沖縄の心を歌う」を開催

2022年 国指定重要無形文化財「琉球舞踊」地謡保持者となる

後進の育成に力を注ぐほか、国内はもとより、海外でも演奏活動を行っている。



※安富祖流では声楽譜を使用せずに師匠との対面指導による方法で00年以上にわたり240曲の歌三線を伝承している。

# 上原信次(うえはらしんじ)

---

琉球古典音楽安富祖流絃聲会

琉球古典音楽安富祖流音楽研究朝一会 教師

玉城流玉扇会玉城盛義琉舞道場 教師

沖縄県那覇市出身。

幼少のころより琉球舞踊を習い、その後歌三線をはじめ、  
現在は”照喜名朝國”に師事し、古典琉球音楽の発展に尽力している。

2009年 琉球新報社主催芸能コンクール琉球舞踊部門最高賞受賞

2010年 琉球新報社主催芸能コンクール三線部門最高賞受賞



## 沖縄とインドのつながり



インド原産のデイゴは沖縄県の花として指定されており、植物の他にもかつて沖縄が琉球と呼ばれていた15世紀頃からインドの服、サリーの柄に使用される絣織りや藍染め、沖縄ではゴーヤーと呼ばれるニガウリ、冬瓜（トウガン）、サトウキビ、マンゴー、

ウコンなどインド生まれの織物や食物などが今でも身近にあり、親しまれています。その沖縄県はバンガロールからおおよそ5000キロ離れた日本で4番目に小さな県です。東京都や大阪府は実は沖縄県よりも小さいのですが、沖縄の人口は東京の10分の1で140万人です。いずれにしてもカルナータカ州よりは人口も規模も小さい島ですが、珊瑚礁の広がる海に囲まれた環境を有効に活かし、沖縄の先祖は日本本土以外でも海外との貿易や交流などをうまく取り入れ、独自の文化を築き上げてきました。



## 三線のはじまり

沖縄はかつて琉球王国だった15世紀初頭から交易船を手段とし中国、東南アジアとの貿易が盛んでした。そのころ中国からの客(冊封使)をもてなすため三線を始め、様々な楽器が中国から伝来され、17世紀初頭に宮廷楽器として用いられるようになりました。

舞踊や組踊などの地謡として現在でも琉球古典音楽を奏でる役割を担っています。

今回は三線と笛、太鼓を演奏しますが、その中でも三線は「三絃」といわれる中国の楽器が直接のルーツとされています。宮廷音楽ではほかに箏や胡弓（三線より小ぶりで弓で弾く弦楽器）なども古典音楽に欠かせない楽器として使用されています。



## 三線の音色と歌三線



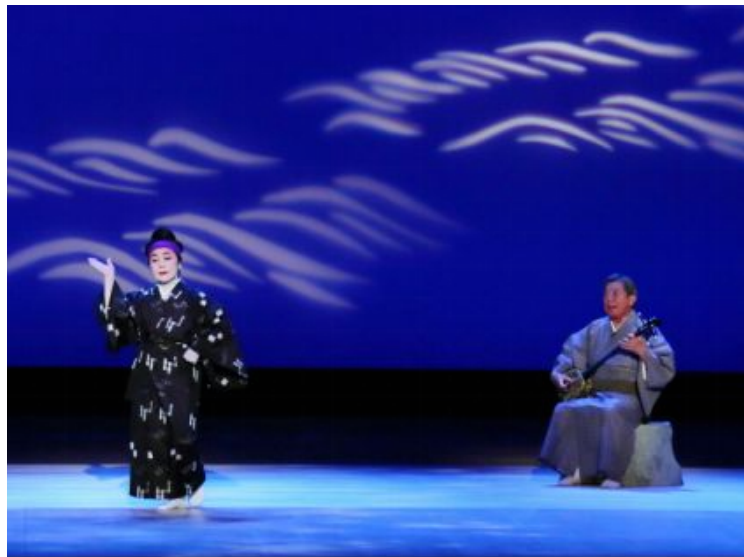
南インドではシタールよりも女神サラスヴァティー(日本の七福神の一人、弁財(才)天)が手にしている弦楽器の「ヴィーナ」や打楽器の「ムリダンガム」が有名ですが、「ヴィーナ」が七弦を共鳴させて弾くのと違い、三線は三本の弦をツメ(バチ)で弾きます。

それぞれの弦の音の響き自体が短く単音ですが、今回の演奏では「ヴィーナ」とは違う音色も聴きどころです。

また三線は歌三線と呼ばれ、三線に合わせて奏者が歌うのが主流です。もともとは三線は男性が弾く楽器だったため、調弦と呼ばれるチューニングは男性用に合わせています。三線の旋律にのせる奏者の歌唱も歌三線の魅力の一つとなっています。



## 演目について



今回は琉球古典音楽の代表作から現在ではお祝いや幕開けの時に歌われる「かぎやで風節」そして「仲風節」「かせかけ」を演奏します。また琉球王朝時代、城内のゆったりとした雰囲気の中で演奏されていた三線が時代の変化と共に庶民の手に渡り、その後には作られた「浜千鳥」、男女ペアで踊る「加那よ一天川」の舞踊曲、観客の皆様も踊って参加できる「カチャーシー」など軽快なリズムの演奏曲も併せてぜひお楽しみください。

# かぎやで風 (かじゃでいふう)



沖縄県の前の琉球王国時代の国歌とも  
言われる古典音楽、お祝いの席では  
必ず歌われる幕開けの曲

— — —



# 仲風節 (なかふうぶし)



古典音楽の中でも難曲であり名曲  
伸びのある高音が聴きどころの曲

— — —

# かせかけ (かしかき)



琉球古典舞踊の曲、女性の踊りで、愛  
しい人に心を込めて上質な布を織って  
差し上げましょう、という女性心を描い  
た舞踊曲

— — —

# 浜千鳥 (はまちどり)



琉球舞踊舞踊、女踊りの代表的な舞踊  
曲

旅に出て親を思う切ない気持ちを千鳥  
のチュイチュイという鳴き声に重ねた  
しっとりとした舞踊曲

— — —

# 加那ヨ一 (かなーよー)



愛しい男性に想いを伝える女性心を  
歌った賑やかなアップテンポの舞踊曲

— — —

# カチャーシー

沖縄の宴では欠かせない曲  
会場にいる全員で好きに踊る踊りが大  
好きな沖縄県民を象徴するフィナーレ

— — —







# 連絡先



**Ryukyu Koten Afuso Ryu Genseikai**  
**Ryukyu Koten Afuso Ryu Ongaku Kenkyu Choichi Kai Shihan (Master)**  
**National Important Intangible Asset of Afuso Style of Classical Ryukyuan Music**  
**Okinawa Prefectural Intangible Cultural Asset of “Kumi Odori”**  
**National Important Intangible Cultural Asset of Ryukyuan Dance (Musician)**

## TERUKINA TOMOKUNI

15-15, Higashimachi, Naha-shi, Okinawa 900-0034, Japan

**Mobile:** +81-90-9784-7947

**Website:** <https://terukinatokyo.grupo.jp/>

**E-mail:** t.tomokuni@gmail.com



**Tamagusuku Ryu Gyokusenkai Tamagusuku Seigi Ryubu Dojyo Kyoshi (Instructor)**

**Ryukyu Koten Afuso Ryu Genseikai**  
**Ryukyu Koten Afuso Ryu Ongaku Kenkyu Choichi Kai Kyoshi (Instructor)**



## UEHARA SHINJI

**Mobile:** +81-90-9782-9148

**E-mail:** ryuubu0304@gmail.com